

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 2 日 (2017.2.2)

【公開番号】特開 2015-121607 (P2015-121607A)

【公開日】平成 27 年 7 月 2 日 (2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報 2015-042

【出願番号】特願 2013-264230 (P2013-264230)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 16 日 (2016.12.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結着樹脂とワックスを含むトナーであって、

該結着樹脂が、結晶性ポリエステル樹脂及び非晶性ポリエステル樹脂を含み、
該結着樹脂中における該非晶性ポリエステル樹脂の含有量が 50 質量% 以上であり、
該トナーが下記数式 (1) ~ (4) を満たすことを特徴とするトナー：

$T_g A - T_g B \quad 10.0 \quad () \quad \cdots (1)$

$T_g C - T_g B \quad 5.0 \quad () \quad \cdots (2)$

$T_g A \quad 45.0 \quad () \quad \cdots (3)$

$T_g C \quad 40.0 \quad () \quad \cdots (4)$

[上記数式 (1) ~ (4) において、

$T_g A$ は、該トナーのガラス転移温度 () を表す。

$T_g B$ は、該トナーを 150 に加熱し、加熱終了後 5 秒以内に液体窒素で冷却し、液体窒素から取り出した後、1 分以内に示差走査熱量測定を行うことにより得られるガラス転移温度 () を表す。

$T_g C$ は、該トナーを 150 に加熱し、加熱終了後 5 秒以内に液体窒素で冷却し、その後 50 で 20 分間保持した後に、示差走査熱量測定を行うことによって得られるガラス転移温度 () を表す。]。

【請求項 2】

前記ワックスが炭化水素ワックスである請求項 1 に記載のトナー。

【請求項 3】

前記ワックスの融点 T_w と前記結晶性ポリエステル樹脂の融点 T_c が、下記数式 (5) 及び (6) を満たす請求項 1 または 2 に記載のトナー：

$T_c < T_w < 100.0 \quad () \quad \cdots (5)$

$T_w - T_c < 20.0 \quad () \quad \cdots (6)。$

【請求項 4】

前記結晶性ポリエステル樹脂が、結晶核剤部位を有し、

該結晶核剤部位が、炭素数 10 以上、30 以下の脂肪族モノアルコール及び/または炭

素数 11 以上、31 以下の脂肪族モノカルボン酸に由来する部位である請求項 1 乃至 3 のいずれか的一项に記載のトナー。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか的一项に記載のトナー及び磁性キャリアを含む二成分系現像剤。